# 田村 — 行 Ikko TAMURA

日本大学芸術学部卒。98年大駱駝艦入艦、麿赤兒に師事。以降大駱駝艦全作品に出演。02年『雑踏のリベルタン』を発表。同作品により第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。08年、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。22年『舞踏 天狗藝術論』を発表。同作品により令和4年度(第73回)芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞受賞。地域の文化や風土を題材とした作品の創作にも意欲的に挑み、独自の作品を発表し続けている。また、子供から高齢者まで幅広い対象者への舞踏ワークショップ・アウトリーチを各地で展開し、好評を得ている。11年度から22年度まで地域創造「現代ダンス活性化事業」登録アーティストとして活動。

**所属カンパニー** 大駱駝艦(だいらくだかん) ホームページ http://www.dairakudakan.com

連絡先(担当) 大駱駝艦・キャメルアーツ株式会社 新船洋子

住 所 〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町2-1-18コスモ吉祥寺北町B1

電 話 0422-21-4982 F A X 0422-21-4983

E - m a i l temputenshiki@dairakudakan.com

在 住 地 東京都八王子市 出 身 地 東京都多摩市



Photo:小林直博 (鶴と1

### ▮活動歴・受賞歴▮

#### ○活動歴

《2019年》「叫び哭きて香を唄ふ」(市民参加作品) 兵庫 現代舞踊協会 『同じ釜の飯を食う』(一般公募) 東京 三島由紀夫文学館開館20周年記念フォーラム 『ハグクミ申ス者 一三島由紀夫に捧ぐー』山梨 『彼方を語る人』 静岡

《2020年》 『リュウグウノツカイ』 (市民参加作品) 兵庫 『ノキシタノマロウド』 兵庫 南郷アートプロジェクト 『しまもりさいじき』 (ダンス映画) 青森

> 東アジア文化都市"詩、踊る"『深きより』福岡 『舞踏 長洲風土記 ヒメゴトキンギョ』熊本 PKT『何もない空間』(青陵中学校特別支援学級)東京

《2021年》『舞踏 土佐清水風土記 ジョン万流離譚』高知 『舞踏 但馬風土記赫ノ章 日槍拾遺譚』(市民参加作品) 兵庫 『舞踏 但馬風土記蒼ノ章 異界の末裔』(市民参加作品) 兵庫 『私家版 浪漫歴程』東京 『舞踏 豊橋妖怪百物語』 愛知

〈2022年〉 『宮古仄聞記』 岩手 『舞踏 但馬風土記 幽暗ノ章 水に浮いたひょうたん』

(市民参加作品) 兵庫 〈2022年〉大駱駝艦・天賦典式 公式YouTubeチャンネル 『1258秒星に願いを』(配信) 『泉大津風土記 穴師樹影譚』(市民参加作品) 大阪

・永久洋風上記入内内のお課』(市民参加計品)入版 大駱駝艦壺中天公演「舞踏 天狗藝術論」東京 『舞踏洒田園土記 幽玄の論理」(市民参加作品) 山形

〈2023年〉『舞踏但馬風土記 但馬夜話蒐集録』 兵庫

### ○受賞歴

〈2003年〉第34回舞踊批評家協会新人賞 〈2023年〉令和4年度(第73回)

芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞

# ┃ワークショップ歴(ダン活以外)┃

〈2019年〉文化活動者派遺事業 (豊田市)、豊岡市民プラザ 白百合女子大学

都城市総合文化ホール (保育園等) 〈2020年〉都城市総合文化ホール (保育園~ Zoom、宮崎県立芸術劇場等) 日本大学芸術学部

〈2021年〉明治大学、北九州芸術劇場 (留学生·大学生)

〈2022年〉 豊岡芸術文化観光専門職大学

北九州YMCA学院×北九州市立大学FIVA×北九州芸 術劇場

世田谷パブリックシアター ダンス食堂

〈2023年〉 豊岡芸術文化観光専門職大学 国立台北芸術大学

※〈2020年~〉座·高円寺ダンスアワードII アソシエイト・アー ティスト

# 可能なワークショップ等のスタイル

### アウトリーチ

難しいことを考えずに力を抜いて空っぽになる。 そして"自分で動くのではなく動かされる"。上手・ 下手という価値観から離れ空っぽになり、感情や 周囲のものに身を委ねると、様々な身振り・手振り・ 動きと出会うことができます。

### ❶学校でのアウトリーチ

頭も体ものびのびしてくる基礎的な体操から始め、様々な型や振りを覚えたり作ったりします。驚き方や笑い方が人それぞれであるように、何かをしようとしなくても既に自分だけの表現や踊りは存在しているのです。表現とはとても自由で身近なものなのだということを体験します。

#### O 数量へのアウトリーチ

「表現しないことが表現である」と考え、「がんばらない」「うまくやろうとしない」ということを大切にし、自由な発想で身体と向き合います。人間の数だけ存在するそれぞれの個性と出会う方法を探ります。

### ❸福祉施設でのアウトリーチ

心も身体もリラックスした状態を作り、自分を取り 巻く世界を感じながら身体を優しく動かしていく ことを体験します。

※その他の施設・場所でのアウトリーチにも対応 いたします。

## 公募ワークショップ

踊りとはどのような時にどのように生まれているのか。そしてどのようなモノにどのように動かされるか。普段と違う発想で、自分や周囲の世界を見つめてみます。思考停止・身振りの採集・鋳態・宙体・各種歩行・緊張と脱力…。大駱駝艦のメソッドは様々なジャンルの芸術・文化・生活に通底し、境界を越えて新しい価値観を見出すきっかけになることができます。抑圧された意識や踊りになる以前の行為と接することは、無限なる表現世界へと続く新たな一歩となるでしょう。

※様々なワークショップ形態にも対応いたしま す。

## この事業で可能な公演スタイル

# レパートリー作品

# 『舞踏風土記シリーズ (タイトル未定)』

上演時間・会場など諸条件を考慮・ご相談しながら 提案させていただきます。その場所ならではの様々 な財産をリサーチし題材といたします。

▶上演時間:60~75分 ▶出演者数:3名(田村一行+共演者) ▶同行スタッフ:演出助手、舞台監督のいずれか ▶現地スタッフ:舞台監督・音響・照明各1名 ▶上演環境(1)会場の広さ・形状:特に

希望なし(2)床:リノリウム希望 ▶その他:出演 者は白塗りをします。楽屋等を養生します。

# 市民参加作品

# 『タイトル未定』

その場所をコンセプトに創作するオリジナル作品です。現地ワークショップ生や様々な団体との創作が可能です。人間に大きな影響を与える土地の風土や文化をモチーフに、参加者特有の身振り・手振りを

採集し作品を構築します。

▶上演時間:60~80分 ▶出演者数:3名(田村一行 +アシスタント) ▶参加人数・回数:10名程度・5 回程度(その他に通し稽古・ゲネプロ等にも参加)▶ 同行スタッフ:演出助手、舞台監督のいずれか ▶ 現地スタッフ:舞台監督・音響・照明各1名 ▶上演 環境:(1)会場の広さ・形状:特に希望なし(2)床: リノリウム希望 ▶その他:出演者は白塗りをしま す。楽屋等を養生します。